

情報処理コース（東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修）

著者	?柳 正勝
雑誌名	技術情報
巻	22
ページ	55-56
発行年	2017-03-10
出版者	静岡大学技術部
URL	http://doi.org/10.14945/00010252

東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修

(情報処理コース)

高柳 正勝

技術部 情報支援部門

1. はじめに

今年度、東海・北陸地区の研修を静岡大学が当番校として実施しました。浜松キャンパスでの開催で、11 組織から 16 名の参加がありましたので、今回の副委員長担当として準備を含め内容について報告いたします。



開講式



演習風景



セキュリティー講義

2. 研修内容

- 2.1 日 程：平成 28 年 8 月 31 日（水）～9 月 2 日（金）
- 2.2 会 場：静岡大学 浜松キャンパス
- 2.3 参加人数：東海・北陸地区の 11 組織から合計 16 名
- 2.4 主な内容：講義は 6 コマ、演習 3 コマを含めた 3 日間の研修です。

講義題目：

- ・「静岡大学の ICT 活用」情報基盤センター 長谷川孝博
- ・「反転授業への簡単動画制作ツール（OfficeMix）の利用」情報基盤センター 井上春樹
- ・「著作権の現状」情報学部情報社会学科 岡田安功
- ・「行動情報学と災害」情報学部行動情報学科 遊橋裕泰
- ・「仮想環境を用いた Moodle 活用体験」工学部数理システム工学科 甲斐充彦
技術部 太田諭之
- ・「サイバーセキュリティの最新動向と対策について」
(株) NTT データ セキュリティ技術部 鴨田浩明

演習題目：

- ・「OfficeMix を用いた自己紹介ビデオ作成」情報基盤センター 山崎國弘、宇田はるな
技術部 古畑智博、安原裕子
- ・ビデオ発表
技術部 柴田頼紀、大石武則

・「行動情報学に関する演習」技術部 喜多野哲也

(以上敬称略)

2.5 準備委員は技術部の各部門から各1名で計6名、情報支援部門10名全員と統括技術長が委員長となり、研修後を含めて合計10回の委員会を開催しました。

予算は、東海・北陸地区の研修費用が用意されていて、計画書を含め、予算案を提出して実施しました。

3. 準備について

静岡大学の技術部としては、平成27年12月に総務委員会の下に準備委員会を1月に立ち上げる事が決まり、1月29日に第1回の準備委員会を開催しました。

実施までは月の計画をガントチャートにし、4月には各委員の担当係を、6月には講義担当者を含め、スケジュールを作成しました。

担当が決まると各自目標が決まったので、そこからは加速度がつき、メーリングリスト等も利用し、お互いの進行状況もつかみながら何とか成功したと感じます。

研修に間に合わせる為に、本番に向けての準備では1ヶ月に3回行った実習もあり、各委員の頑張りが実を結んだ結果だと思えます。また、技術部内研修をこの研修の準備として予算を含め活用させて頂けたこともスムーズな運営に寄与したと考えます。

4. 反省点について

4.1 実施広報に関しては、大学のホームページ、技術部のホームページ等での準備をしていたつもりでしたが、誰が原稿を書き何時出すかについての詳細を決めてなく、結果的に遅くなってしまいました。

4.2 現在2016年から5年間は当番が静岡大学には回って来ない事が予め内定しています。今回苦労した点は、5年程度前には静岡大学で情報コースを実施する事がほぼ決まっていたにも係わらず、担当部門まで連絡が届いてないために近年の動向が掴めず情報収集にはとても苦労しました。

4.3 予算関係として、静岡大学の人事課職員係と連絡を密にし、最終的には名古屋大学へ書類を提出することになるので、物品の購入に関しても事前に納品、見積、請求書を含め、何が最終的に必要か、どのような書類を作成するのかを予め確認することの必要性も学びました。

5. まとめ

今回の研修は、情報にあまり関係の無い他部門からも準備委員会に参加してもらえました。それを勤務時間内に許して頂いた各部門長を含め、皆様にお礼を述べたいと思います。結果として様々な角度から見た研修ができたことと感じます。

また準備の為、情報学部大学院の特別講義を技術職員に聴講させて頂いた西垣正勝教授他、講義に関して快く引き受けて頂いた講師の皆様、人事課の担当者にはお世話になりました。最後に、一番頑張った準備委員会の委員には本当に感謝しています。一緒に良い仕事ができるとてもうれしく思います、どうもありがとうございました。